

2023年2月7日

ALPS 処理水海域モニタリング測定結果 水生生物調査（魚類のトリチウム）（2022年10月分）

1. 調査概要

(1) 調査期間

2022年10月22日

(2) 調査地点

福島県沿岸の3測点（ALPS 処理水放水口予定箇所から3 km 圏内の3測点）

(3) 調査内容

・水生生物（魚類）の放射性物質濃度（トリチウム）の測定

※トリチウムは組織自由水型（Tissue free water tritium:TFWT）と有機結合型（Organically bound tritium:OBT）を測定している。

2. 結果概要

(1) 水生生物調査（福島県沿岸：3測点（9試料））

水生生物（魚類）の組織自由水トリチウム（検出下限目標値 0.1 Bq/L）は、0.087 Bq/L～0.18 Bq/L（0.066 Bq/kg 生～0.14 Bq/kg 生）の範囲であった。

水生生物（魚類）の有機結合型トリチウム（検出下限目標値 0.5 Bq/L）は、すべて検出下限値未満であった。

※検出下限目標値とは、分析を行う際に、少なくともその値までは確実に検出できるよう精度管理上設定する値のことをいう。実際の検出下限値は、試料毎に異なり、それぞれ検出下限目標値と同等又は下回ることとなる。

（詳細別紙）

（地図別添）

<問い合わせ先>

環境省水・大気環境局水環境課

直 通：03-5521-8306

代 表：03-5581-3351

担 当：前田（内線 21171） 田邊（内線 25500）

別紙

水生生物（魚類）のトリチウム分析結果

測点	採取日	試料名	採取深度 (m)	核種	放射能濃度 ^{※1,※2}	単位
E-SF1	2022/10/22	ヒラメ	-	H-3(TFWT)	0.11 ± 0.021	Bq/L
					0.081 ± 0.016	Bq/kg生
				H-3(OBT)	< 0.4	Bq/L
					< 0.05	Bq/kg生
E-SF1	2022/10/22	カスザメ	-	H-3(TFWT)	0.087 ± 0.0095	Bq/L
					0.066 ± 0.0075	Bq/kg生
				H-3(OBT)	< 0.3	Bq/L
					< 0.05	Bq/kg生
E-SF1	2022/10/22	ツマリカスベ	-	H-3(TFWT)	0.11 ± 0.010	Bq/L
					0.082 ± 0.0080	Bq/kg生
				H-3(OBT)	< 0.3	Bq/L
					< 0.04	Bq/kg生
E-SF2	2022/10/22	マダイ	-	H-3(TFWT)	0.13 ± 0.021	Bq/L
					0.099 ± 0.016	Bq/kg生
				H-3(OBT)	< 0.4	Bq/L
					< 0.05	Bq/kg生
E-SF2	2022/10/22	ヒラメ	-	H-3(TFWT)	0.13 ± 0.011	Bq/L
					0.10 ± 0.009	Bq/kg生
				H-3(OBT)	< 0.3	Bq/L
					< 0.04	Bq/kg生
E-SF2	2022/10/22	トビエイ	-	H-3(TFWT)	0.18 ± 0.013	Bq/L
					0.14 ± 0.010	Bq/kg生
				H-3(OBT)	< 0.3	Bq/L
					< 0.05	Bq/kg生
E-SF3	2022/10/22	ヒラメ	-	H-3(TFWT)	0.18 ± 0.029	Bq/L
					0.13 ± 0.022	Bq/kg生
				H-3(OBT)	< 0.4	Bq/L
					< 0.05	Bq/kg生
E-SF3	2022/10/22	ニベ	-	H-3(TFWT)	0.17 ± 0.030	Bq/L
					0.14 ± 0.024	Bq/kg生
				H-3(OBT)	< 0.4	Bq/L
					< 0.05	Bq/kg生
E-SF3	2022/10/22	ツマリカスベ	-	H-3(TFWT)	0.15 ± 0.029	Bq/L
					0.12 ± 0.023	Bq/kg生
				H-3(OBT)	< 0.4	Bq/L
					< 0.04	Bq/kg生

※1 放射能濃度の表記は、「放射能濃度±合成標準不確かさ」である。

※2 検出下限値未満の場合は検出下限値を示した（例：< 10 Bq/Lの場合、10 Bq/L未満であることを示す）。

(別添)

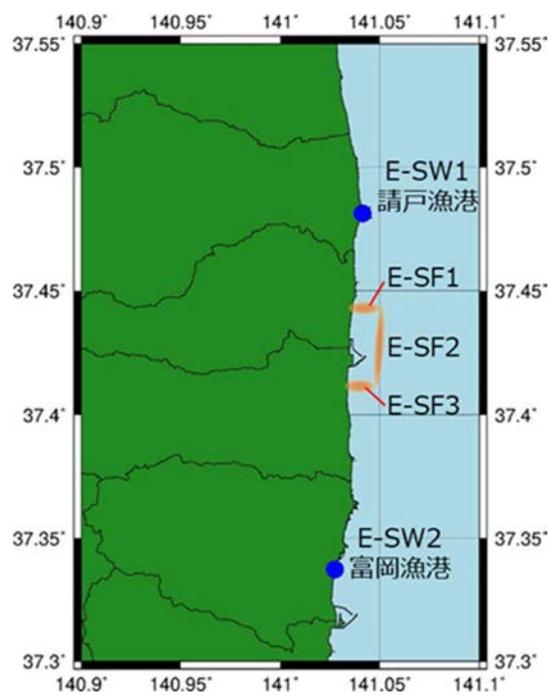


図1 水生生物（魚類及び海藻類）の測点